

2025年度第2回 理事会:議事録

日 時：2025年7月15日(火)19:00～21:00

会 場:Zoomによるオンライン開催

参加者:新井、池田、石森、今村、小此木、勝野、木村、高坂、小林、設樂、柴田、都丸、長谷川、柳井、山浦、吉岡、李(50音)

【各部報告・審議事項】

1. 新井会長

1) 2025年度第1回協会長・都道府県士会長会議報告

2) 新担当体制について

①局長人事 事務局長:長谷川副会長(再任)

学術局長:勝野副会長(新任)

事業局長:山口副会長(再任)

地域局長:柴田副会長(再任)

今期より、副局長を置く体制を敷きたい。設置理由は、局内での相談体制や業務分担等を整え、局長業務のサポート体制を整えるとともに、シームレスな代替わりを果たしていくためである。

②副局長人事 副事務局長:石森理事(再任)

副学術局長:李理事

副事業局長:高坂理事

副地域局長:山浦理事

ただし、定款第54条7「局及び部の組織・構成及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。」を根拠として副局長を設置して運用にあたることとしたい。

審議結果:上記案で承認された。

また、再任の理事は留任することで承認された。

新任理事については、次回理事会にて審議していく。

3) 新規部署について

主旨としての「女性作業療法士の県士会への入会促進」「女性会員がもっと参加しやすい県士会づくり」「女性会員がもっと活躍していただける県士会づくり」、「子育て世代にある会員が研修会や活動など県士会事業に参加参画しやすくなるためにはどうするのか」「若手作業療法士がもっと県士会に魅力を感じて頂くにはどうすればよいのか」等々といったことを検討し、策を講じていただけるための部署の構成をどうするのかを検討したい。

審議結果:勝野副会長を中心に池田理事、柳井理事、中嶋理事で検討していく。

4) 主任者会議のあり方や機能を見直していくための部署を地域局に設置したい。

5) 司法領域における作業療法を取り扱う部署の新設を審議いただきたい。

審議結果:窓口として部署が必要であること、今年度は事務局が担当するといった意見があがつた。継続審議していく。

2. 教育部[担当:勝野・今村／報告者:教育部部長 今井卓也]

【報告事項】

ブロック長会議 メールで随時審議を実施。

6/18にリモート会議を実施。

1) 令和7年度 現職者共通研修・選択研修・基礎ポイント研修

①現職者共通研修

現職者共通研修 「作業療法生涯教育概論」

日時:令和7年7月7日 講師:松本OTR(沼田脳外)

上記内容で研修会を開催した。研修会運営では特に大きなトラブルはなし。

広報の期間が約1カ月と短くなってしまったため、今後は十分な広報の期間を確保する。

現職者共通研修 「作業療法における協業・後輩育成」

日時:令和7年10月29日 講師:都丸理事

上記内容で研修会を開催予定。

現職者共通研修 「事例検討」

日時:令和7年7月20日 会場:群馬医療福祉大学(対面開催)

新人症例発表会との合同開催。上記内容で研修会準備を進めている。

※その他の現職者共通研修も今年度の講師から内諾を得ており、今後準備を進めていく。

②現職者選択研修

現職者選択研修 「発達障害領域」

日時:令和7年11月23日 開催方法:オンライン研修

講師:吉岡理事、信澤先生(前橋市)、北爪先生(anomira)、十枝先生(群大)

上記内容で研修会準備を進めている。

③基礎ポイント研修

・「3Dプリンター×作業療法(子ども支援のための3D自助具共創プロジェクト)」

日時:令和7年8月7日 開催方法:オンライン研修

講師:田中先生(NPO法人そいる)、近藤先生(群馬パース大学)

上記内容で研修会準備を進めている。

・「作業療法士のためのシングルケースデザイン」

日時:令和7年10月9日、令和7年10月16日

開催方法:オンライン研修

講師:丁子雄希先生(新潟リハビリテーション大学)

上記内容で研修会準備を進めている。

2) 令和7年度 新人症例発表会

日時:令和7年7月20日 会場:群馬医療福祉大学(対面開催)

統括:須田ブロック長(館林厚生病院)、金高OTR(療育センターきぼう)

各ブロック担当:北中毛→前橋日赤病院(矢吹OTR)

西毛→群馬整肢療護園(吉田ブロック長)

東毛→館林厚生病院(須田ブロック長、糸井OTR)

発表者:46名(査読希望者1名)

上記内容で研修会を開催予定。

3) その他

①生涯教育制度推進担当者について

前任の柴田副会長から教育部の今井へ担当者を変更する。

今期の任期は令和7年4月1日～令和9年3月31日の予定。

OT協会への推薦状を県士会事務局へ依頼する。

【審議事項】 なし

3. 広報部 [担当:都丸、部長 土岐]

【報告事項】

1) 公益事業グループ(グループ長:中澤)

①今年度の高校生を対象とした職業案内イベントを10月予定とし、ポスター等を作成中。その他広報活動についても部会にて検討予定。

2) ニュース編集グループ(グループ長:大脇)

①7月号発行準備中。10月号の記事を募集しています。9月25日締め切り予定。

記事の掲載依頼等ありましたら下記アドレスにお願いいたします。

送付先:介護老人保健施設うららく ニュース編集G 長 大脇 daxiezongya@gmail.com

3) 広報企画グループ(グループ長:金子)

公益事業Gと合同で活動実施。各部と情報を共有し必要な外部情報の収集とまとめを行う。

【審議事項】 なし

【意見】

新井会長より、小中学生やその親世代に作業療法士の魅力を感じていただくような働きかけを広報部に行っていただきたいとの意見があつた。

4. 学術部 [担当:李・吉岡 部長:近藤]

【報告事項】

1) 学術研究グループ(佐藤グループ長)

①5月14日に、学術部特別企画「スライド・ポスター・プレゼンテーションの基本的なルール」の勉強会を開催した。

2) 学会支援グループ(秋山グループ長)

①第27回群馬県作業療法学会の講師公文書の発送について支援を行った。

3) 機関誌編集グループ(柳井グループ長)

①機関誌「ぐんま作業療法研究」投稿論文の募集を5月末に終了、現在査読中である。

②機関紙編集グループは1名体制であったため、新に2名機関紙編集グループに加入し、合計3名体制となった。

【審議事項】 なし

5. 運転と作業療法特設委員会 [担当:李]

【報告事項】 なし

【審議事項】 なし

6. 福祉用具委員会 [担当:石森]

【報告事項】

1) 福祉用具相談支援システムおよび生活行為工夫情報事業の県士会員登録状況

令和7年7月9日時点において、福祉用具相談支援システムの登録者数は77件、相談件数は5件。生活行為工夫情報事業は3件であった。

2) 福祉用具関連の研修依頼への対応について

①令和7年8月20日群馬県介護支援専門員協会にて研修を行う予定。講師は美原記念病院 石森卓矢。

【審議事項】 なし

7. 養成校連絡協議会 [担当:高坂、小林、木村]

【報告事項】

1) 養成校連絡協議会

①第1回養成校連絡協議会開催。

②2025.9.20(土)~21(日)臨床実習指導者講習会開催(太田医療技術専門学校)

【審議事項】 なし

【意見】

新井会長より、学生会員の増加に向けて様々な施策を検討してほしいとの意見があった。

8. 地域局 [担当:柴田・今村・小此木・山浦]

【報告事項】

1) 北中毛ブロック支部

①9月頃主任者会議を開催予定。

2) 東毛ブロック支部

①館林厚生の前任者と共にふれあいの会へ参加した。前任者との引継ぎ継続中(6月4日)。

②9月頃に主任者会議を開催予定。

3) 西毛ブロック支部

①地域包括フェスティバルの会議に参加した(7月3日)。

4) 全体 なし

【審議事項】 なし

9. 福利厚生部 [担当:小此木、部長 設楽]

【報告事項】

1) リレーフォーライフ

①イベントでは一般参加者へノベルティを今年も予定している。
②一般参加者へ作業療法士についてのパンフレットも配布していく。

2) 新人症例発表会の表彰状について

①今年度より、外注へ表彰状作成を依頼しています。

3) 県士会についてのオリエンテーションについて

①教育部員の協力を得て、新人症例発表会の昼食休憩時に各会場のスクリーンにPower Pointのスライドショーとして参加者へ見てもらう予定になっています。

4) 福利厚生部主催企画について

①資産形成についての講演会を予定しています。日程等は今後、調整していきます。

【審議事項】 なし

【意見】

高坂理事より、リレーフォーライフについて学生向けの広報が必要であれば、養成校連絡協議会に連絡をいただきたいとの意見があった。

10. 訪問リハビリテーション学術大会in群馬 [担当:小此木]

【報告事項】

参加者総数は683名となり、多くの方々にご来場いただいた。理事各位ならびにボランティアスタッフ、各養成校学生の皆様には多大なるご尽力を賜り、心より感謝申し上げる。収支に関して赤字を生じることなく、約20万円を能登半島への寄付金として拠出できる運びとなった。

【審議事項】 なし

11. 地域作業療法推進部 [担当:高坂、吉岡]

【報告事項】

1) 地域包括ケア推進グループ(山口グループ長)

①6月16日に地域包括ケア推進グループの定例会議を開催した。

②6月19日に日本作業療法士協会主催の2025年度第1回地域支援事業会議に高坂理事、山浦理事、山口グループ長が参加した。

③6月27日に前橋市中央通り商店街で行われた風街夕やけマルシェに参加した。県士会ブースには230名を越える方が来場し、広報活動や運動指導など行い地域の方との交流を図ることができた。

④7月22日に関東信越ブロック会議が予定されており、高坂理事、山口グループ長が参加予定である。

⑤以下の通り、ナイトセミナーを開催予定である。

日時: 10月16日 会場: オンライン

講師: 前橋市社会福祉協議会職員

2) 認知症支援推進グループ(笹谷グループ長)

①5月22日付で「群馬県地域医療介護総合確保基金事業費補助金」の交付決定の通知があった。

②6月17日に第3回目認知症グループの会議を開催した。

③以下の通り、第1回「認知症ケア資質向上のための研修会」を予定している。

日時: 10月18日(土) 12:50~16:30 会場: たまごホール

講師: 木村憲洋氏(高崎健康福祉大学)、山口怜生氏(認知症の人と家族の会副代表)、飯島教理氏(認知症ケア専門士・キャラバンメイト)

④5月25日、6月22日の「認知症の人と家族の会」のつどいに 笹谷グループ長が参加した。

3) 精神科領域推進グループ(米原グループ長)

①6月4日に第2回グループ員会議を実施した。今年度の担当決めを行った。

②以下の通り、精神科領域推進グループ主催の研修会を予定している。

日時: 第1回9月27日(土)、第2回1月10日(土)

会場: 群馬バース大学

③6月27日に地域包括推進グループが参加した夕やけマルシェの様子を精神グループのSNSを活用して広報協力を行った。

④以下の通り、ソーシャルバスケットボールキャラバン群馬ラウンドが開催される。広報について協力した。

日時: 7月26日 13:30~16:00 会場: しんしん大渡体育馆

⑤以下の通り、相談会・交流会を開催予定である。

日時:8月8日 19:00~21:00

会場:オンライン

⑥発達支援推進グループとのコラボ研修会を今年度も開催予定である為、同グループと企画会議を行った。

⑦9月6日にこころのふれあいフェスタへ県士会ブースが出演予定である為、広報部より当日の運営協力の依頼を受けた。

4) 発達支援推進グループ(小田グループ長)

①5月28日第1回定期勉強会「外部専門家派遣事業報告会・事業説明会」を実施した。

参加者70名(県士会会員29名、他県士会会員18名、OT学生1名、ST3名、教諭・校長14名、市議会議員2名、その他3名)であった。

②6月11日に研修企画会議を実施した。8月26日に、「前橋市の5歳児健診における作業療法士の関わりと実際」を講師に信澤直美氏(前橋市役所)を迎えて実施する予定となった。広報を7月4日より開始している。

③6月16日に、12月定期勉強会(若手企画)について企画会議を行った。日々の臨床での疑問の相談を吉澤氏、千葉氏、金澤氏に話題提供いただき、12月7日または14日(日)14:00~16:00に実施していく事を決めた。

④6月20日群馬県特別支援学校機能強化事業 第2回専門アドバイザー研修(群馬県教育委員会) 講師として小田グループ長が参加した。

⑤6月27日第2回定期勉強会「地域の子ども支援をつなぐOTの視点を学ぶ会」を実施した。(参加者県士会会員12名学生2名) 話題提供:中嶋鯨氏(合同会社anomira)、柳井明子氏(群馬医療福祉大学)

⑥7月19日(土)に「教育領域への作業療法士参画に向けた意見交換会」に小田グループ長、六本木氏が参加予定となっている。

5) 部全体事項

地域作業療法推進部の部長が交代となり、後任は、認知症支援推進グループに所属されていた佐藤琢也氏(サービス付高齢者住宅 虹の家)とする。

【審議事項】

自立支援型地域ケア個別会議の傍聴について(別添資料参照) 前橋地域リハビリテーション広域支援センターより、作業療法士向けの自立支援型地域ケア個別会議の傍聴について案内があった。HP等への案内の掲載可否についてご審議いただきたい。

目的:自立支援型地域ケア個別会議への対応が可能な人材育成のため

対象:前橋市に勤務する作業療法士

内容:地域包括支援センターが開催する自立支援型地域ケア個別会議への参加・傍聴

審議結果:群馬県作業療法士会HPに掲載することで承認された。

12. 事務局 [担当:長谷川・石森]

【連絡事項】

1) メール配信方法の変更について

スケジュールを変更する。7月予定から8月を予定に変更。

* 協会システムに登録してあるメールアドレスに対して配信を行う。

* メール配信停止を希望される方については、停止フォームから連絡をいただく。

2) 協会退会者に伴う県士会退会について

2025年4月7日時点での退会者人数:66名

県士会を退会していると認識されていない方もいるため、今後、個別の郵送にて通知する。

財務部と調整のうえ対処していく。

3) 「協会員=士会員」実現に向けた第1回事務局会議 報告

【協会側の結論】

従来考えてきた、会員管理のルール・会費一括徴収のシステム化による方策ではなく、会員管理・会費徴収の従来の運用は維持しつつ、できるところから徐々に始めて、「協会員=士会員」を最終的に目指すことが「協会員=士会員」を実現するための現

実路線であるという結論に至った。

【協会の今後の方策】

会員管理・会費徴収は、協会・士会それぞれで従来の運用を維持しつつ、現行システムの追加機能の検討や規定等の整備など、協会・士会がそれぞれにできるところから徐々に始めて、「協会員=士会員」を最終的に目指す。

【協議事項】

1) 前橋刑務所での作業療法士紹介について

①具体的な頻度、実施方法等の内容としては未定

②有償だが、金額は未定

③作業療法士会としては紹介をする形で関与し、作業療法士個人と契約を結んでもらう。

④OTへの要望・教育プログラムの実施に対する専門家としてのアドバイス プログラムのマネジメント協力

⑤今後の予定

まず見学の希望者を募り、前橋刑務所に見学ツアーを行う。

刑務所での刑務作業、教育プログラムの実際を担当刑務官から説明をしていただく。

現時点で参画できるか分からなくても良いので興味を持っている方や、前橋刑務所に行ってみたい方を対象とし人数は最低5人以上を集める予定。

【審議事項】

1) 休会制度の設立について

現状:休会制度なし。会費減免事業で対応。

2027年度の「協会員=士会員」の一元化がなくなったことにより今まで先送りにしていた休会制度について再検討が必要。

現行の会費減免事業の継続の可否、または休会制度の設立のいずれかを審議する。

審議結果:現行事業を継続することで承認された。来年度再度審議していく。

40周年記念式典について 40周年記念式典実行委員会

【報告事項】

開催日:2026.7.11(土) 13:00~ 会場:メトロポリタン高崎

特別講演講師:日本作業療法士協会 会長 山本伸一氏

→懇親会にも出席される予定。

※8月頃に実行委員会開催予定。

※今後、功労賞等の選定を行う予定。

→福利厚生部の方にもご協力賜りたくお願い申し上げたい。

※懇親会の段取りなどはこれから準備を進めて行く。

【お願い】

当日の運営に理事の方のご協力が必要。

当日ご出席いただけますようご配慮いただきたい。

13. 財務部 [担当:高橋・小林]

【報告事項】

1) 各部会への予算の振込

2) 財務部業務の引継ぎ

【審議事項】なし

14. 第27回群馬県作業療法学会 [担当:木村]

【報告事項】

1) 一般演題募集の受付終了。14件の応募があった。

2) 今後も関係部署や実行委員と連絡を取りつつ、準備を進めいく予定。

【審議事項】

1) 学会当日の取材をJ-COMと上毛新聞社に依頼したいが、話を進めても良いか。

決定事項:J-COMと上毛新聞社との話を進めていくことで承認された。

その他連絡事項:なし

次回理事会予定 未定